

とが増えると、イオンモール  
 榎原とのさらなる連携は、よ  
 り一層の相乗効果を生むもの  
 と考えられる。イオンモール  
 榎原のみならず、多方面での  
 連携を視野に入れ、観光力の  
 強化を図っていきたい。

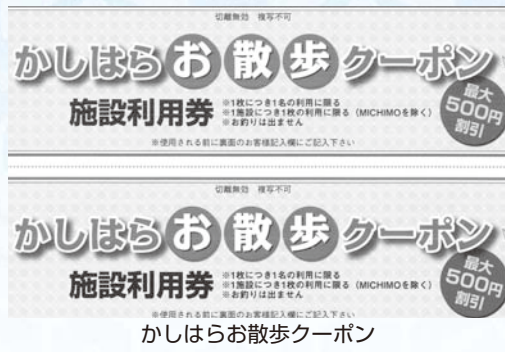
**問** 新沢千塚古墳群や菖蒲池  
 古墳、船付山などを広域的な  
 自然公園として捉えての活用  
 方法を市として何か考えてい  
 ることはあるか。

**答** 本市内に位置する菖蒲池  
 古墳、丸山古墳、植山古墳、  
 小谷古墳、益田の岩船、沼山  
 古墳、榊山古墳、新沢千塚古  
 墳群、明日香村の牽牛子塚古  
 墳、真弓鐘子塚古墳等々、そ  
 して解体を予定している白檀  
 市配水地が近くにあり、これ  
 らを含めた広域的な古墳をめ  
 ぐる周遊ルートの設定や、遊  
 歩道の整備の構想を課題も多  
 いと思うが、観光力の強化  
 といった面で、研究、検討に  
 値するものと考えており、研  
 究を始めたところである。

**問** 一町配水場周辺には、公  
 社の土地が多くあるが、スポ  
 ーツリゾートの観点から、  
 もう一歩進んだ活用方法は考  
 えられないか。

**答** 現時点では具体的な活用

の方向性は出ていないが、古  
 墳等に近接している関係もあ  
 り、当該土地を有効活用すべ  
 く、多方面での研究、検討を  
 していきたい。



**一般質問**

**亀甲 義明 (公明党)**

**安心・安全な  
まちづくり**

**問** 通学路の安全対策につい  
 て、平成24年に全国で登下校  
 中の児童生徒が死傷する事故  
 が相次いで発生したことを背  
 景に、全国で通学路緊急合同  
 点検が実施された。本市も点

検を行い、50カ所、緊急を要  
 する通学路安全対策を行った  
 ようだが、対策状況と結果は。

**答** 対策は、警察等に要望し  
 ているものを除き、平成26年  
 度中でほぼ終了した。

**問** 対策効果や検証は。

**答** 学校等に確認をしており、  
 その後、苦情等はない。

**問** 合同点検実施を検討し、  
 対策の実施、対策効果の把握  
 対策の改善充実というように、  
 繰り返し実施することで、通  
 学路の安全向上を図ることは  
 とても大切なことである。今  
 年度より、また3年をかけ市  
 内全域の通学路の合同点検を  
 実施するが、点検内容と進捗  
 状況は。

**答** 通学路の整備等は、各学  
 校や地域からの要望を受け、  
 関係機関が合同点検を行い、  
 その対策を検討し実施してい  
 る。昨年8月に、通学路の安  
 全確保に向けた取り組みを継  
 続的に行うため「榎原市通学  
 路安全対策プログラム」を策  
 定した。概要は、市内の小学  
 校区16校を中学校ブロックご  
 とに3グループに分け、それ  
 ぞれ3年に1回、合同点検を  
 実施する。今年8月に八木中  
 ブロックの小学校5校の合同

点検を実施した。

**問** 今回要望に上がった数と  
 内容は。

**答** 今年の合同点検で、全体  
 で5カ所点検し、通学時に児  
 童が横断する道路について、  
 カラー舗装や巻き込みポール  
 等の設置等の必要性を確認し  
 た。実施は、関係課と協議中  
 である。

**問** 各年度の点検結果や要望  
 に対し、迅速かつ計画的に安  
 全対策を行う必要がある。ど  
 のような計画か。

**答** 整備が必要な箇所は、関  
 係機関等と協議を行い、必要  
 箇所に応じた具体的な実施メ  
 ニューを検討する。軽易なも  
 のはすぐ対応できるが、大規  
 模なものは予算を確保し、順  
 次整備していく。

**問** 対象ブロックではない地  
 域でも、要望等が上がれば対  
 応するののか。

**答** 実施年度以外のブロック  
 についても、各学校から報告  
 を受けた箇所は、関係機関合  
 同で点検し、随時対策を実施  
 する。

**問** 要望が上がっていきな  
 くて、市としては、積極的に危  
 険な箇所の調査をすべきと考  
 えるが。

**答** 地域の見守り隊や保護者  
 の方から直接連絡があった場  
 合、まず担当が確認する。緊  
 急を要する箇所は、関係課と  
 随時現場確認をしている。

**問** 歩道と車道の区別がない  
 など危険な通学路では、ドラ  
 イバーに対して視覚的認識、  
 車両の速度抑制のためグリ  
 ンベルト及び交差点のカラー  
 塗装など、設置していること  
 ろがある。積極的に導入して  
 はどうか。今後の方針は。

**答** 要望があれば、道路関係  
 課と協議し、必要性を判断し  
 対応したい。要件を満たす箇  
 所は、予算的なこともあるが  
 積極的に導入したい。

**問** 通学路と密接な関係にあ  
 る生活道路のゾーン30につい  
 て聞きたい。スピードの出過  
 ぎ等で通学路に自動車が出っ  
 込んでくる事故事例も多く、  
 警察庁交通局から平成23年9  
 月20日付で、ゾーン30の推進  
 について通達が出されている。  
 ゾーン30の内容と設置条件は。

**答** 公安委員会の判断により、  
 エリアを定め制限速度を30キ  
 ロとし区域内道路にグリーン  
 ラインを設置するもので、設  
 置要件は4点ほどある。区域  
 の決め方は、交通量や交通事